



Go On

2016年グループ結成。「社会福祉法人明日へ向かって」のガムランチーム。2014年にインドネシアの西部ジャワの「ガムラン」を導入し、施設の日中活動として音楽活動を開始。アフリカンパーカッションやタイの民族楽器「キム」、雅楽の「笙」などを交えた演奏活動を展開している。セッションやワークショップを通じ、ガムランによるオリジナルのメロディ創作や歌詞づけから楽曲を制作。チーム名である「Go On」は、元木哲三氏によって名づけられ、「go on (進む、継続する)」「五音 (音階の数)」「轟音」「御恩」そして「ゴーン (音)」という五つの言葉が重ねあわされている。



Takeo Niikura 新倉壮朗

1986年生まれ。即興演奏家。11才の時、アフリカのセネガルの太鼓「サバル」を知り、アフリカ音楽にのめり込む。2002年より「新倉壮朗の世界」と題して定期的にコンサートを開き、パワフルなステージを繰り広げている。2011年、セネガルでの様子を中心に、タケオと人々と音楽を介したコミュニケーションを描いたドキュメンタリー映画「タケオ」が完成し、世界各地で上映され好評を博す。2018年6月、フランス・パリの日本文化館にて「Takeo & Bala Dée」に出演。タケオのブログ
<http://takeoyume.exblog.jp/>
ドキュメンタリー映画「タケオ」
<http://www.takeo-cinema.jp/>
写真：足立剛一

世界は音をたてて震えている。

朝日と共に、鳥たちは方々で鳴き、

月の夜、生き物たちが声を出し呼応する。

森のざわめき、静かな雨の音、

海辺の波打つ轟音、そして人の奏でる音楽。

世界は、うたを歌い

渦巻く音の気配に満ちている。



Geiko Avant-Garde Consort 芸工アヴァンギャルド・コンソート

九州大学芸術工学部の前身、九州芸術工科大学が開学して間もない頃、30点近い古楽器が大学に導入された。音響実験や楽器展示が目的だったとされているが、実際に演奏されたという記録はなかった。キャンパスの一室で数十年の間、演奏されることなくひっそりと眠っていた古楽器たち。この楽器群を蘇らせるため、同大学の藤枝研究室が母体となり、「古楽器プロジェクト」が立ち上がり、2014年に結成。リコーダーやリュート、クルムホルン、チェンバロ、ハーディーガーディなど、ルネッサンス時代の楽器を中心に、当時の合奏曲から現代作品まで幅広く取り入れている。



Takao 寺崎充央 (あふりかじゃんぐる)

福岡県久留米市生まれ。幼少より和太鼓に親しみ、各地で演奏を重ねる。1999年アフリカン音楽活動開始。同年『FOLIKAN』参加。ギニアやマリに渡り、現地の生活を体験しながら太鼓や弦楽器を学ぶ。現在『あふりかじゃんぐる』などのグループに所属。演奏活動の他に教室やワークショップの主催、障がい福祉施設や子ども向けにレクリエーションを行うなど精力的に活動している。 <http://takaoppa.web.fc2.com>

お問い合わせ

社会福祉法人 明日へ向かって
〒813-0025 福岡市東区青葉2-11-9



Tel : 092-663-2833
Fax : 092-663-2834
(担当：渡辺、財津)

<http://www.swca.or.jp/>

2019年 3月 23日 (土) 開場12:30 開演 13:00

会場：なみきスクエア なみきホール
(福岡市東区千早四丁目21番45号)



JR千早駅向かい
博多駅から快速8分!

Access

JR鹿児島本線・西鉄貝塚線「千早駅」徒歩1分
西鉄バス「千早駅」徒歩1分「名香野」徒歩5分

*車でお越しの際には、ホール近隣のコインパーキングをご利用ください。
ホール北側の市営千早駅前駐車場ご利用で減免となります。

